

センサーを正しく使うためのポイント



お手元に届いたら、まず「水分活性校正」

1. 校正が必要な理由

センサー付試料容器(センサー)は、使用していても保管していても、**感度が少しずつ変化して**いきます。
そのため、安定した測定を続けるには、「**感度を合わせるための日常的な校正**」が重要です。

2. 校正の準備

- ・サンプルの水分活性に近い飽和塩をご用意ください。



飽和塩の製品ページはこちら

- ・校正は、サンプル測定と同じ条件(測定環境・設定条件)で行ってください。



○ クイック(手測)モード
● スタビリティ(安定性)モード
安定時間 分
許容値

- ・測定モードごとに校正が必要です。

クイックモード

OR

スタビリティモード

※クイックモードの場合は、「水分活性校正」と「応答時間校正」が必要です。
詳細は取扱説明書をご確認ください。

3. 何点校正すればよいか

- ・特定のサンプルを測る → 1点校正



1点校正

- ・幅広い水分活性のサンプルを測る → 2~3点校正



2~3点校正

4. 校正頻度の目安

精度を維持するためには、**使用する日の測定前に1回校正**することを推奨します※。

※使用頻度や求める精度により、適切な頻度は異なります。

5. センサー交換の目安

安定した測定のため、**定期的な買い替え(年に1回)**を推奨しています。



買い替え

日常的なセンサー管理

①まず校正



③古くなったセンサーは買い替え



②日常的に校正をしながら使用



おすすめの保管方法

購入時の状態で保管することを推奨します。

1. B型シリカゲルをセット



2. 静電気防止袋(銀色の袋)に入れる



柴田科学株式会社

草加本社工場 〒340-0005 埼玉県草加市中根1-1-62

<http://www.sibata.co.jp/>

発行元:カスタマーリレーション部 マーケティング2課